

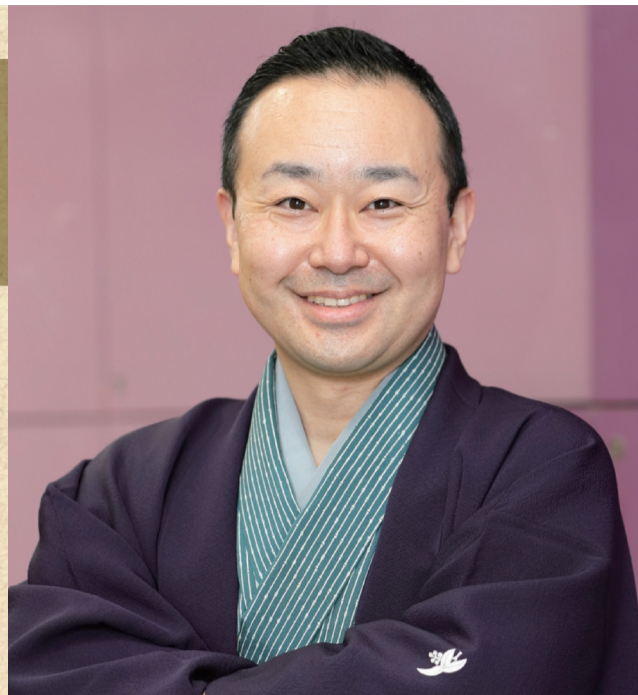
# 荒川の人

## 第264回

オンラインでも落語の魅力を発信。  
元気をくれる大好きな街とともに生きていきたい!

落語家 桂やまとさん

1974年荒川区西尾久生まれ。1999年中央大学卒業後、桂才賀師匠に弟子入り。2003年二ツ目昇進。2014年大正時代以来の名跡「桂やまと」を三代目として89年ぶりに襲名、真打昇進。都内各寄席、全国での落語会に出演するほか、定期的には日暮里サニーホールで独演会を開催する。区内小学校のPTA会長、荒川区青少年育成尾久地区委員会理事も務めるなど、荒川区をホームにマルチに活躍中。



**新** 型コロナウイルスの感染拡大によってたいへんな苦労を強いられたこの一年。時代の荒波は文化・芸術の分野、落語の世界にも容赦なく襲いかかりました。落語家の桂やまとさんに激動の一年を振り返っていただきながら、生まれ育った荒川の街の魅力などについてじっくりとお話を伺いました。

### コロナで消えかかった娯楽の灯 オンライン落語会に活路を見出す

「演者もお客さまも底知れない不安を感じながら同じ空間を共有していたのが昨年2月から3月にかけての頃。日を追うごとにお客さまも減っていったので、演芸場が休業に追い込まれることは覚悟していました。娯楽の灯を絶やすまいと奮闘してきた演芸場の関係者のみなさんの気持ちを思うと、つらかったですね」

昨年春の緊急事態宣言下は人生を一度立ち止まって考える時期と捉え、稽古と並行して大学時代に専攻していた心理学の勉強に励むなど、前向きな気持ちで過ごすよう心がけていたそうです。「家族がいて、仲間がいて、そしてお客さまがいる。自分はけっして一人ぼっちではないから、なんとかなるだろうって。もともと能天気な性格のせいかもしれませんが」と笑顔を見せるやまとさん。

とはいえ、このままでは生活が成り立つはずもありません。人前で活動することもままならない逆境の中、奥さまの強い勧めもあり、自宅からオンラインで落語を生配信することを決意します。「噺家とお客さまが同じ空気を共有することが落語の醍醐味ですから大反対だったんですが、カミさんには逆らえませんでした(笑)」

周囲の協力を得ながら6月に初めてのオンライン落語会にこぎつけると、手ごたえをつかみます。「いざやってみると演芸場やテレビとはまた違った、直

接語りかけてくるような臨場感があると言われました。新発見でした。遠方にお住まいの方や、会場に足を運ぶのが難しいご年配の方にも楽しんでもらえるのがオンラインのいいところですね」

出口の見えない長いトンネルの中で見えてきた一筋の光明。新たな試みとしてスタートしたオンライン落語会はこれからも継続していくそうです。

2014年の真打昇進後から日暮里サニーホールでほぼ毎月開催している「桂やまと独演会」はやまとさんにとって特別な舞台となっています。コロナの影響で実に7か月ぶりの開催となった10月の独演会では万雷の拍手を浴びながら、落語家としての存在意義と幸せを全身でかみしめました。「お客さまに向かって頭を下げると会場に響きわたる拍手の振動が耳だけでなく体全体に伝わってきたんです。ああ自分は、ここに居ていいんだ、これからも居なきゃいけないんだって、実感しましたね」

### 愛する荒川のために粉骨砕身 地元・尾久で一生暮らしたい

先祖代々尾久に住んでいることもあり、尾久界限には幼い頃の思い出がちりばめられています。「学校から帰ったらランドセルを放り出して、野球やサッカー。あらかわ遊園は乗り物よりも園内を駆けずり回っていた記憶の方が多いかな。釣りを覚えたのも園内の釣り堀でしたね」

若かりし頃は西尾久を出たいと思ったことも。それでも住み続けてしまう居心地の良さがこの街にはあるそうです。「荒川の街には新しくやってきた人をあたたかく受け入れるやさしさがあると思います。生まれ育った故郷のことが大好きだって胸を張って言えるのはすごく幸せなことですよ」

4年前から小学校のPTA会長を務めるなど、地域の活動にも積極的に関わっているやまとさん。人間関係を円滑に運ぶためには、「相手の気持ちを

受け止める」ことが大切だと話します。「入門して最初に叩き込まれたのが相手が怒っていたら自分に非がなくてもまず『すみません』と受け止めること。悪くないのに謝るなんてと不思議でした。でもこの一言で相手の心が開くんです」

愛してやまない尾久で生涯暮らすことを公言するやまとさんが太鼓判を押す地元の飲食店のひとつが都電荒川線の線路沿いにお店を構えるラーメン屋さん「富士松」。イチオシは「淡麗煮干らーめん」だそうです。「ふじ」つながりで旧小台通りの天ぶら屋さん『天ぶじ』にもよく買いに行きます。おしゃれなランチなら『アクールジョア』。ケーキだったら『洋菓子セキヤ』か『パティスリー ウールーグー』だな。実はウールーグーのパティシエの桜庭さんは中学時代の恩師の息子さんなんですよ!」やまとさんと尾久のつながりの深さがひしひしと伝わってきました。

江戸時代から続く伝統を守るため、愛する荒川の未来のため、桂やまとさんはコロナに負けず、これからも果敢な挑戦を続けていきます。



生粋の江戸っ子らしい語り口と生き生きした人物描写が桂やまとさんの真骨頂。次回の日暮里サニーホール公演は5月18日(火)を予定しています。(公演の詳細は3ページをご覧ください)

*Takeout & Delivery*  
テイクアウト&デリバリー

～ホテルの味をご自宅で～  
ホテルメイドのお料理でステイホームをもっと楽しく♪  
ご不明な点はお気軽にお問い合わせください

販売時間	【テイクアウト】 (ランチ) 11:00～14:30 (ディナー) 17:00～19:30	【デリバリー】 (ランチ) 11:00～14:30 (ディナー) 17:00～19:00	配達エリア	東日暮里3～6丁目 西日暮里1丁目、2丁目、5丁目 根岸2丁目、3丁目
------	---	--	-------	---

◆デリバリーは、お料理料金合計¥2,000以上から承ります。 ◆配達所要時間は、40分～60分を目安にご注文くださいませ。  
◆デリバリーは、配達料¥300を頂戴いたします。 ◆配達は、ホテルスタッフが伺います。

オンラインにて24時間受け付けいたします。  
ご利用方法 右記QRコードよりご希望のお料理をお選びいただき、ご注文ください。  
<https://www.tablecheck.com/shops/hotellungwood-serio/reserve>

電話でのご予約・お問い合わせ

レストランセリオ **SERIO** TEL.03-3803-1234 代表 【受付時間】 11:00～19:00

HOTEL LUNGWOOD 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5 TEL.(03)3803-1234 (代表) 選ばれるホテルは [ホテルラングウッド](#) 検索

【交通のご案内】日暮里駅南改札口 徒歩1分【駐車場】立体駐車場26台  
※車体制限あり ※駐車場のご予約は承っておりません。※できるだけ公共交通機関をご利用ください。